

白地集落「集落営農ビジョン」
 (人材確保型支援 ・ 規模拡大・発展型支援)

※該当する支援メニューに○を記入

作成日： 4年11月 16日

修正日： 年 月 日

市町村名	岩美町	組織名	農事組合法人 白地農業生産管理組合
1 地区の範囲 岩美郡岩美町白地地区			
2 地区の概要			
水田面積	29.5 h a	主な水田栽培作物	水稲・大豆・野菜
			農家数 54 戸
認定農業者数	経営体	人・農地プランの中心となる経営体数	1 経営体
3 組織の概要			
設立時期	昭和 58 年 2 月 28 日 (平成 27 年 7 月 26 日定款変更)	経営面積	29.5 h a
		構成農家数	54 戸
組織形態 (該当形態に○を記入) ・ 共同利用型 ・ 作業受託型 <u>協業経営型</u>			
役員の数・年齢 8 人 (平均年齢 67 歳)			
オペレーターの数・年齢 8 人 (平均年齢 62 歳)			
その他集落営農活動に参加している人数・年齢 39 人 (平均年齢 62.7 歳)			
4 集落営農に対する基本方針			
【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】			
(1) 担い手の明確化及び水田利用集積目標 白地集落は、農業従事者の高齢化や離農者により耕作放棄地が発生することが想定され、平成 27 年に集落で検討・協議し、集落の農地を守ることを第 1 目標とし平成 28 年から農地を集約し法人で農業経営を行うこととし、現在も法人役員を中心に農業経営を行い現在に至っています。 作業者の高齢化が進む中、集落の農地の経営を行うことが精一杯で集落外等の農地集積までは考えていません。集落については、各農家の同意が得られて、集積率は 100%であり、これからも維持していきたいです。 今後も地域の農地を守るため、経営の健全化を図りながら持続可能な組織にしたいと考えております。			
(2) 水田の作付計画 (水稲以外の作物を含む)、活用方針・具体策 水稲はコシヒカリ 16ha (59%)、星空舞 10ha (37%)、ハクトモチ 1.1ha (4%)、合計 27ha、大豆を 1.8ha と白ねぎ 0.8ha を本年は作付けし、白ねぎについては U ターン就農者 (34 歳) に任せて作付けしています。 作土層が浅く、低湿地が多いため、白ねぎ栽培には向かないかもしれませんが、将来的には白ねぎの作付けを 1.0ha まで伸ばしたいと考えています。			

(3) 農業用機械施設の効率利用

トラクター4台、田植機1台、コンバイン2台、乾燥機3台を利用し耕作、出荷しています。但し、トラクター4台は何れも平成28年の発足当時に個人から買上げた機械で効率利用をしていましたが、近年は故障が度々発生し作業に支障が出ていることと、25馬力・30馬力は経営規模からすると不足するのが実情であります。

田植え作業の終盤になると代かきが間に合わず、通常2回行う代かきを1回で田植えをしているのが現状です。その結果、保水力が弱く、除草剤が十分に効かず、雑草が生育している圃場が約5haあります。それらの圃場では約1割の収量減になっているため、トラクター33馬力1台を追加することにより、これらの改善を図ります。資金の関係で初年度にトラクター、2年度目にサイバーハローを整備します。

コンポキャスターについては、現在、1台で全圃場の土壌改良材及び肥料の散布を行っています。作業日程が過密となり、作業の遅延の原因となっています。これをあと1台整備することにより、続く作業を円滑に行います。

コンバインについては、現在、使用している2台のうち1台は10年以上使用していますが、古い機種のためエンジン能力や脱穀能力がやや低く、グレンタンクの容量はあまり多くなく、日常整備にも時間がかかっています。これらを最新の機種とすることにより、作業能率の効率化を図ります。

(4) 人材の確保、後継者育成に関する方針

現在、60代から70代の役員と40代～50代の協力役員(運営委員)を任命し作業協力を実践していますが、勤め人で実働は土日に限られ平日はUターン就農者も含め3～5人程度で作業に従事しているのが実情です。

併せて、オペレーターの高齢化も進んでおり、Uターン就農者や、地元若年層の後継者の育成に取り組んでいます。

又、鳥取市や町内在住の地元出身者に作業に参加して頂いております。

(5) 経営多角化の方針・具体策

水稻は白地米として堆肥を投入した栽培により白地米としてのブランド米の直売販売強化を図ります。又、白ネギはUターン就農者に依頼し、今後は更なる作付け面積拡大を図りたい考えであります。

【人材確保型支援は記入必須】

5 人材確保のための取組方針

【項目】		【実施年度】		
		○年度	○年度	○年度
人材育成研修	実務研修			
	免許取得			
	その他			
集落営農活動への参画				

【人材確保型支援（うち畦畔管理省力化支援）は記入必須】

6 畦畔管理の省力化のための取組

(1) グランドカバープランツ施工計画

施工場所：

施工対象面積（畦畔実面積）： ha

本田（＝水張）面積： ha

年数	内容	面積 (ha)	金額 (円)	実施年度
1年目				
2年目				
3年目				

注1) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

(2) 畦畔管理用機械導入計画

（機械利用対象畦畔面積 ha、本田（＝水張）面積 ha）

機械施設名	規格能力	台数等	金額 (円)	導入予定年月

(3) 畦畔管理用作業の状況

内容	現状 (年度)	事業実施後 (年度)
取組対象（予定）面積 (ha)		
取組対象面積当たり年間 作業時間		

注1) 取組対象圃場について記載すること。

2) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

【規模拡大・発展型支援は記入必須】

7 集積（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標

【項目】		【現状】	【目標】 7 年度
農地 の 集積	集積面積 A	29.5 ha	29.5 ha
	対象水田面積 B	29.5 ha	29.5 ha
	集積率 A/B	100.0 %	100.0 %

地区外集積面積 C	h a	h a
経営面積 A + C	29.5 h a	29.5 h a
経営の多角化への取組	水稲を中心に大豆・白ネギを 転作作物として作付け	特に白ネギ作付け面積の拡大 を計画

注1) 経営の多角化への取組は、該当する場合のみ記載すること。

8 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額 (円)	導入予定年月	本事業による 導入機械に○
トラクター	33馬力	1	3,319,091	令和5年2月	○
サイバーハロー	TX345E-UA	1	1,160,000	令和5年4月	○
コンボキャスター	CC3530-B	1	456,000	令和5年4月	○
コンバイン	4条	1	7,885,000	令和7年3月	○

9 添付資料

- 人材確保型支援は研修計画一覧（参考様式）、規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）を添付すること。
- 規模拡大・発展型支援は集積状況一覧（別表1、2）、機械の利用計画（別紙）、規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）を添付すること。

注1) 目標年度は、事業実施最終年度の翌年度から3年以内のいずれかの年度で設定すること。

2) 経営面積等の現状及び目標は、集積状況一覧（別表1、2）により作成すること。